

〔隨意錄三〕京師稱洛者舊擬彼方洛陽耳洛水名其都在洛水之南故曰洛陽是不中乎此方之京然而此稱所由來既久也則今不可敢非也、

〔朝野群載文筆〕洛陽田樂記

永長元年之夏洛陽大有田樂之事○下

〔法然上人行狀畫圖三十三〕念佛の興行洛陽にして年ひさし邊鄙におもむきて田夫野人をす、めん事年來の本意なり、

〔平治物語〕待賢門軍附信賴落事

重盛宣ケルハ年號ハ平治也花洛ハ平安城也我等ハ平氏ナレバ三事相應セリ、

〔法然上人行狀畫圖四十八〕法性寺の空阿彌陀佛はいづれの所の人といふ事を玄らず延暦寺の住侶なりけるが叡山を辭して聚洛にいづ、

〔倭訓栞前編十四〕たひら〇中 今の皇都平安城をたひらといへり、

〔大和豊秋津島ト定記〕平京波未深山乃時興利既仁帝都乃勢自貢備支利誠仁日本乃中心國中乃秀天下無雙之勝地奈利南波晴禮北波塞利東波流水有天福壽延長之謂弘顯之西仁長木山並比連禮四神相應弘爲寸然波四方四隅仁靈神並座天代代乃固仁奈豆氣利○下

〔古今著聞集十八〕觀知僧都九條の太政大臣兼實○藤原のものとへ平葺をおくるとてそへ侍りけるたひらかに平のきやうにすむ人はひらたけをこそくふべかりけれ

〔八雲御抄五〕都うちのみやこ山万くにの大萬ならの同萬あをふぢはらの同萬な

にはの攝萬さゝなみのの近萬志がみかのはら萬みかはら國のみふるの大萬

〔和爾雅地理〕日本歷世都地日向國宮崎神武大和國桓原宮同上同國葛城高丘宮綏同國片鹽浮穴宮安同國輕地曲峽ノ宮懿同國掖上池心宮昭同國室地秋津島宮孝同國黑田廬戶宮孝靈同國輕地